

● 会員（企業、NPO、個人）の主体性を基本に、データ連携基盤を活用した社会課題解決の構想づくり、事業化検討、実施を共助のスタイルで行う

⇒ 会員企業からワーキング・グループができるまでの流れ（設立当初）

